

「腹腔鏡下手術に して②」



山本組合総合病院
外科科長

大山 健一

さて、今回は前回に引き続き腹腔鏡手術について、特に最新の治療法に関して、お伝えしたいと思います。

近年は秋田県内でも、胃ガンや大腸ガンなどの手術を、腹腔鏡手術で行う病院が増えてきました。その一方、肝臓や脾臓、脾臓などの手術を腹腔鏡手術で行っている病院は、国内でも数少ないのが現状です。

また、何か所も傷をつけずに、

一か所だけの傷で手術をする、最新の**単孔式腹腔鏡手術**という方法があります。

国内ではトップレベルの岩手医大の協力のもと、当院では積極的にこの方法を導入し、2009年11月に行った単孔式腹腔鏡下脾臓摘出術は、国内では初めての症例となりました**(資料①)**。

また、肝臓の完全腹腔鏡下手術は、県内では当院でしか受け

ることができず、2013年4月に行った単孔式腹腔鏡下肝臓切除は、東北で初めての症例となりました**(資料②)**。

さらに、脾臓の手術に関して、現在県内では当院でしか受けられません**(資料③)**。

このように、当院は最先端の腹腔鏡下手術を提供できる環境にあり、その他の術式も含め、2013年度に当院で行った腹腔鏡手術件数235件は県内でも有数です。

都会の大きな病院で受ける手術が、必ずしも最先端の手術を行っているわけではなく、能代にいても都会に勝るとも劣らない治療を受けることができるのです。しかし、地域性なのか残

念ながら、治療内容で病院を選択される患者さんはほとんどいません。これを読んでくださった皆さんが、情報発信源になっていたいただけたら幸いです。

(資料③)

すい臓の腫瘍切除に成功

2013年(平成25年)10月5日

高難度の「最後の領域」

山本組合総合病院 最先端医療を地域で

【図1】腫瘍が5-12cmの大きさで、膵臓の「最後の領域」に位置する。従来の手術では、開腹手術による大規模な切開が必要であったが、当院では腹腔鏡手術による最小限の切開で手術を行った。

【図2】腫瘍が摘出された膵臓断面と連続する膵管を切断し、取出した。

(資料①)

2012年(平成24年)4月12日(木曜日)

開腹手術に比べ、傷が小さく、体への負担が少ない腹腔鏡下手術。能代市岩手の山本組合総合病院(庄田第一)では県内で唯一、肝がん治療の肝切除といった高難度手術ができるほか、切開を1か所にとどめる「単孔式」も導入し、適用例を増やしている。中でも単孔式による脾臓摘出(国内で初めて成功)の手術ができるのは、全国でも限られた医療機関となっており、先進医療を支える基盤づくりとしても取り組みが注目されている。

高難度の腹腔鏡下手術

能代市の山本組合総合病院

腹腔鏡手術は、開腹手術に比べて、傷が小さく、体への負担が少ない。能代市岩手の山本組合総合病院(庄田第一)では、単孔式による脾臓摘出(国内で初めて成功)の手術ができるのは、全国でも限られた医療機関となっており、先進医療を支える基盤づくりとしても取り組みが注目されている。

岩手医科大と連携、実績上げる

去、岩手医科大との連携により、腹腔鏡下手術の導入が実現された。岩手医科大は、腹腔鏡手術の先進医療施設として、国内でもトップレベルの技術を持つ。山本組合総合病院は、岩手医科大と連携し、腹腔鏡下手術の導入を実現した。これにより、患者への負担を軽減し、手術の成功率を向上させることが期待されている。

切開部分小さく、患者の負担軽減

腹腔鏡手術は、開腹手術に比べて、傷が小さく、体への負担が少ない。患者の負担を軽減し、手術の成功率を向上させることが期待されている。

(資料②)

平成25年(2013年)3月28日(木曜日)

腹腔鏡下手術 導入進む



【図1】カメラや鉗子を入れるための5cmと11cmの切開を追加する。【図2】肝臓を切除し、腫瘍を摘出する。

先端医療の環境を整備

腹腔鏡手術は、開腹手術に比べて、傷が小さく、体への負担が少ない。患者の負担を軽減し、手術の成功率を向上させることが期待されている。

肝切除、県内で唯一

「単孔式」で東北初も予定

4月には、肝臓の完全腹腔鏡下手術が予定されている。これは、県内では唯一の手術となる。患者の負担を軽減し、手術の成功率を向上させることが期待されている。

[資料①~③は、北羽新報からの出典です。]